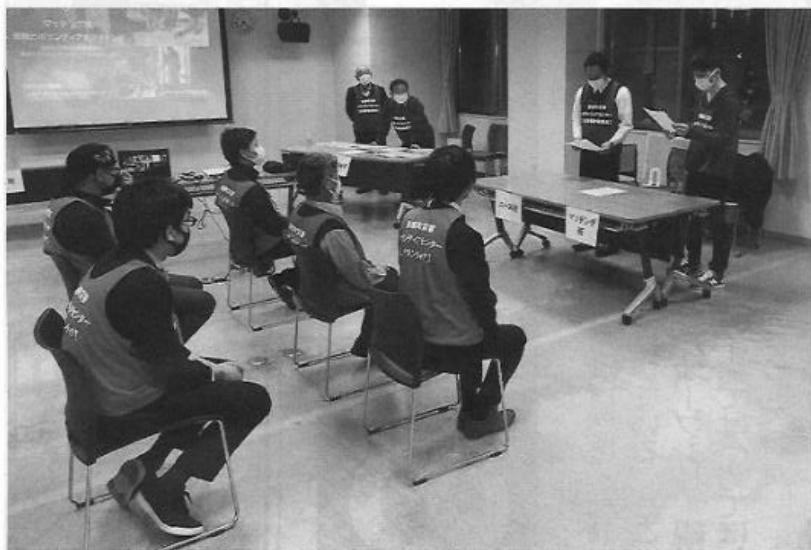


災害ボランティアセンター運営委員会が小規模運営訓練を実施



大規模災害時、被災者への個別支援を目的に美幌町社会福祉協議会が運

## 災害ボランティアセンター 小規模運営訓練で人材育成

美幌町社会福祉協議会

嘗する「災害ボランティアセンター」運営委員会（太田博美委員長、委員12人）の小規模運営訓練が19日、しゃきつとプラザで行われた。災害ボランティアセンターは、美幌町と美幌町協の設置・運営に関する協定締結により、大規模災害が発生した際の被災者への個別支援を目的に社協が運営。被災者の生活支援のニーズに対し、各地から集う災害ボランティアや支援に駆けつける社協職員らの活動調整を担う。美幌町社協では、20

18年の北海道胆振東部地震発生時で、厚真町等被災地社協を支援した職員の経験から、「センターの運営には地域を知る住民の力が必要」として、19年に町民53人が参加した初の訓練を行った。継続事業を計画したが、長引くコロナ禍で2回目以降は延期が続いている。同運営委員会は、災害ボランティアセンターを訓練は災害ボランティアの派遣など一連のセンター運営訓練と、被災者支援にあたる災害ボランティアをそれぞれ体験した。

運営できる人材を一人でも多く育成しようと運営委員、協力員が訓練を重ねることが必要との考えから小規模運営訓練を行った。この日は運営委員と協力員、町職員ら14人が参加した。訓練は災害ボランティアセンターの登録受け付けや被災者ニーズに合わせてグループ分け（マッチング）、資源機材の貸し出し、ボランティアの派遣など一連のセンター運営訓練と、被災者支援にあたる災害ボランティアをそれぞれ体験した。

運営委員会は、「5月に2回目の小規模訓練を行いたい」と話している。